

研究課題名	胸部X線画像を使用した骨粗鬆症スクリーニング法の開発
研究の意義・目的	骨粗鬆症の早期発見のために、定期的な検診が推奨されていますが、その受診率は決して充分ではありません。その理由として、骨密度の低下は骨折するまで自覚症状がないことや、骨密度測定があまり一般的ではないことが挙げられます。そこで、多くの方が数年に一度は撮影される胸部X線画像に注目しました。この画像から骨粗鬆症のリスクを測定することができれば、胸部X線画像を撮影するだけで、受診者さまの骨粗鬆症リスクをアラートすることが可能です。この研究では胸部X線画像から骨粗鬆症リスクを検出するシステム構築を目的とします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年4月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2014年4月1日～2021年3月31日の期間に MedCity21 と大阪市立大学医学部附属病院においてX線撮影とDXA <sup>1</sup> による骨密度測定を行った方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：【年齢、性別、診断名、身長、体重、BMI<sup>2</sup>、BMD<sup>3</sup>、Tスコア<sup>4</sup>、Zスコア<sup>5</sup>、X線画像、撮影条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. X線を使用して骨密度を測定する装置</li> <li>2. 身長<sup>2</sup>の二乗に対する体重の比で体格を表す指数</li> <li>3. DXAで測定される、骨密度（Bone Mineral Density：BMD）</li> <li>4. 若年齢の平均BMD値を基準として比較した値</li> <li>5. 同年齢の平均BMD値を基準として比較した値</li> </ol>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	研究責任者：大阪市立大学医学部附属病院 先端予防医療部 MedCity21 太田雪乃
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学医学部附属病院 先端予防医療部 MedCity21</p> <p>(担当者氏名) 太田雪乃</p> <p>電話番号：(06) 6624-4010</p> <p>メールアドレス：ohta.yukino@med.osaka-cu.ac.jp</p>